

11

November
2012
No. 164

あなたに届けます
JAから

なのはな

IBUSUKI



JA Magazine Nanohana



はまだ たつり よしこ
スプレー菊農家 濱田竜典さん・能子さん夫妻
(指宿市山川の圃場で)



2012
国際協同組合理年

 JA いぶすき

編集発行:いぶすき農業協同組合
〒891-0516鹿児島県指宿市山川成川3830
TEL.0993-35-3411
<http://www.ks-ja.or.jp/ibu/index.html>

そらまめ現地検討会開催

10月中旬に、指宿市山川地区でそらまめの現地検討会が3か所で開催され、約60人が集まりました。集まった生産者は、南薩地域振興局・J Aなどから説明を受け、わき芽除去のポイント、今後の病害虫対策等管理について確認しました。

2012年度は、J A管内全体で共販数量約2400トン、共販金額約10億7千600万円を計画しています。



そらまめ現地検討会

スナックエンドウ出荷始まる



スナックエンドウ出荷始まる

J A管内で、スナックエンドウの出荷が10月15日より始まりました。生産者は、少雨高温の天気が続く中、日頃の作業管理を徹底し、初出荷を迎えました。

指宿えんどう部会の諸留一司会長は「今後も肥培管理を徹底して安心・安全な作物を消費地へ届けたい。」と話しました。

管内では、5月までの長期で出荷が行われる予定です。

J A情報紙「アグリ」の風

J Aでは「担い手づくり戦略」を推進・実践する専門スタッフとして、農業振興担当職員(SAP)「スタッフ(組織一員)・アグリカルチャー(農業)・プロモーション(振興)」を2007年3月から設置して



「アグリ」の風」を訪問先に配布するJ A職員

現在、3名の職員が地区別で定期的に農家を訪問し、地域段階における担い手の確保・育成のための取り組みを支援する活動を行っています。

本年度からは情報提供を目的として、訪問先の農家にJ A情報紙「アグリ」の風」を手作りで作成し、配布しています。各地区の購買店舗にも配布しておりますので、ぜひご覧になって下さい。

アグリ」の風 第7号

営 農 抑制南瓜の病害虫対策について

病気は自覚病、うどんこ病を中心に予防し、害虫はコナジラミ類の防除、また、ヨトウシジミ類の発生に注意する。

コナジラミ類の防除	
タバココナジラミ類	センマイトF.L. 1,000倍～1,500倍 3日前 2日 スミロチー乳剤 1,000倍 14日前 3日

※また、モレスタン水和剤(うどんこ病で登録)は、コナジラミ類に対して殺卵効果が高く、センマイトF.L.は殺幼虫効果が高い。

病害薬散布ローテーション

1 ジョントライセン水和剤	600倍	(30日前)
2 エドミル水和剤	800倍	(14日前)
3 レバド水和剤	500倍	(7日前)
4 アグロ-水和剤	1,000倍	(7日前)
5 アリエー水和剤	400～800倍	(前日)

詳しくはJ A農産部、SAPまでお問い合わせください。
農産部住所：農産部事務所、生産調整に任せましょう!!!

みんなに伝えようT P P問題

T P P参加で地域経済の活力がわかれる。夏の60%を海外に売れますか？

日本でも食料の60%を海外からの輸入に頼っています。T P P参加で売れるようになる60%の「食」を海外に売ることになり、日本産品・地域産品は増産的打撃を受けることや、農家が困ったこと自覚・環境を保全する機会がわかれる事などが懸念されます。

日頃よりJ Aのサービスをご利用いただき誠にありがとうございます。

平成24年 月 日 掲載

農業振興担当 SAP 11部 文庫
SAP 庶務 080-2770-1591
詳しくはSAPまでお問い合わせください!!!

情報誌「アグリ」の風

枚聞神社ほぜ祭開催



稚児行列

歩き、見物人が見守りました。相撲大会も開催され、赤ちゃんの健やかな成長を願う行われた土俵入りや、小・中・高校生によるトーナメント戦や学校対抗戦などで大会を盛り上げました。ほぜとは「豊饒」と書き、大地の恵みにより農作物が良くできることを意味し、一年間、心を込めて育てた作物が実りを結ぶ季節に、収穫の喜びを分かち合い、ほぜに感謝をささげます。

指宿市開聞の枚聞神社の例大祭が、10月14日から前夜祭・神幸祭を含め3日間行われました。近隣からたくさんの方々が参加者・見物人が集まり、JAも開聞地区職員が中心となり、参加しました。



赤ちゃんの土俵入り

10月20日、琉球から甘藷を持ち帰った「前田利右衛門」の生誕の地であり、利右衛門を祀る指宿市山川の徳光神社で、例大祭が行われ、当JAも神事などに参加しました。

当日は、さつまいもの品評会や子供相撲なども行われ、多くの人々で賑わいました。

例大祭は前田利右衛門の功績を称え、毎年行われています。



神事の様子

JA青年部指宿支部あぐりスクール 菜の花の植え付け体験!



菜の花の種を植え付ける児童

JA青年部では「2012年度あぐりスクール」として、管内の丹波小学校5年生を対象に学校給食の残飯を用いたの堆肥づくりを実施しています。

10月19日、完成した堆肥を使用し、食用菜の花の種の植え付け体験を実施しました。

植え付け体験を終えた児童は「疲れたけど、楽しかった。まだやりたい。」と話し、土に触れる喜びや楽しさを実感していました。

徳光神社例大祭

「農」にかける思い

山川地区
濱田竜典さん

J A管内で、スプレー菊の出荷が続いています。

山川地区浜兎ヶ水でスプレー菊を栽培する、濱田竜典さん(48)も出荷の準備で忙しい日々を送っています。

濱田さんは、大分短期大学園芸科でバイオテクノロジーを学び、広島県の洋ラン販売店などで働き、1989年に故郷に戻り就農しました。実家では、スプレー菊や露地野菜を作っていました。2006年からスプレー菊の専作を始めました。

最も気を使うのは水の管理で、スプレー菊の

根は湿度に敏感で、水はけを良くしなければ、根腐れや病気の原因となり、逆に水が少



出荷作業で忙しい日々を送る濱田竜典さん

ないと肥料が溶けずに生育が遅れて花のポリウムが無くなります。「昨年高品質の物が出来たからといって、今年も同じように水かけや施肥をしても、今年も同じ結果が得られるとは限らないので、毎年が勝負。」という心掛けで日々の栽培に臨んでいます。

昨年の6月からは、管内の22名で構成する、花き部会協議会長に選ばれ、より素晴らしい花作りに意欲をみなぎらせています。

日本最南端駅で菜の花の種まき

10月3日、JR最南端の駅で知られる西大山駅周辺の畑で、菜の花の種まきがありました。咲き始めは12月中旬で、来年1月に開催される「菜の花マラソン」の頃に満開を迎え、2月頃までが見頃となります。

種まきには、指宿市山川の慈光保育園の園児や地元老人会、J Aなど約60名が参加、同駅に向かいの畑10アールに約3万本の種をまきました。豊留悦男指宿市長は「菜の花を見ると元



笑顔の参加者



西大山駅近くで行われた種まき

気になる。ぜひ西大山駅に足を運んで頂き、指宿の良さを実感して欲しい。」と挨拶しました。園児も老人会員から「この種が、きれいな花をさかせるんだよ。」と教わりながら丁寧にまきました。

同駅は、1日に16本の列車が停車する無人駅で、畑に囲まれた静かな環境にあり、薩摩富士と呼ばれる開聞岳を間近に眺めることが出来ます。

児童と地元住民と一緒に稲刈り作業



児童と地元住民と一緒に稲刈り作業

鹿児島市立中名小学校では、地元とのふれあい活動の一環として、児童が稲作を体験しました。

10月11日、5年生の児童・地元住民・学校・JA関係者など、あわせて約50名が参加し、手刈りで稲刈りを行いました。初めて稲刈りを行う児童も多く、鎌の使い方を大人に教わり、一生懸命に収穫をしていました。

葉たばこ収納

9月19日～20日・24日～25日の4日間、当JA管内の葉たばこを生産者が宮崎県都城市のJTリーフセンターへ納めました。

管内の生産者が大切に育てた葉たばこを、JT（日本たばこ産業）が品質に応じて買取り価格を決める大切な一日で、会場は緊張した様子でしたが、今年度は品質も良く、生産者30名で約3億円の売り上げとなりました。



葉たばこ収納

「野菜部会協議会役員と常勤役員」と語る会開催



「野菜部会協議会役員と常勤役員」と語る会

JAは10月24日、指宿市内のホテルで「野菜部会協議会役員と常勤役員」と語る会を開催し、各野菜部会役員、JA青年部・女性部、県経済連、JA役職員など40名が出席しました。意見交換会では生産資材の価格、販売促進などについて意見が出され、各担当者から回答・説明がありました。

出席者は、率直に意見を交換し、熱心に耳を傾けていました。

JA女性部職員サークルミニバレーボール大会

JAは、10月5日、指宿市開聞総合体育館で、女性部職員サークルミニバレーボール大会を開催しました。職員サークル部員、女性部リーダー、職員などが参加し、熱戦を繰り広げた結果、中部支所チームが優勝しました。女性部職員サークルは、2010年に結成され、活動を通じ女性職員、家族の交流を深めながら、JA学習会や生活文化活動に取り組む事を目的としています。



JA女性部職員サークルミニバレーボール大会

職 場 紹 介 喜 入 支 所

喜入支所は、鈴支所長を中心として主に信用・共済事業などの業務を行っております。

喜入地区は米やみかんなどの農産物出荷が多く、地理的には都市部のベッドタウンとして発展しています。

11月23日（金）には、マリンピア喜入多目的広場で第27回喜入わいわいまつりが開催されます。JA職員も参加し、農産物の品評会やたまご・みかんのつかみ取りなど様々なイベントが行われますので、ぜひお越し下さい。



職員紹介（左から）、鈴 さみよ、山崎 久恵、甲斐 さやか、鈴 強（支所長）、住吉 幸雄、畑中 里南、浜崎 良和、永野 敦子



新・おもてなし考

脳へのおもてなし

近年、脳を鍛えることがブームになっていきます。何が一番脳を使い、鍛えることになるのでしょうか。

それは「まず物事を自分で考えること」ではないでしょうか。

パスカルの原理で知られるパスカル（フランスの哲学者・数学者・物理学者）はその著書の中で「人間は考える葦（あし）である」と述べています。

その意味するところは「限りなく広い宇宙に比べれば、人間は水辺に自生し風にそよぐ葦のように弱い存在である。しかし、人間はそのことを知っている『考える葦』である。ゆえに思考を持たない宇宙よりも人間は偉大である」というような意味です。

さて、あなたは常に自分が『考える葦』であることを自覚して自分で考え、判断し、行動しているでしょうか。迷いや悩みの出口をまずは自分で探しているでしょうか。

今はとても便利な時代です。考えたり調べたりする前にパソコンや携帯電話で「どうすればいい?」「教えて」と発信すれば、すぐさま返事が届く時代です。

エッセイスト ● 小川有里

バスや電車もカードでピツ、です。この前、あちこちの友人たちと集まりましたが、それぞれ交通費がいくらだったのか「ん?」。

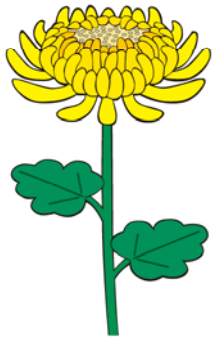
「急いでいないときは料金表を見て券売機で切符を買い、お釣りを確認しよう。小まめに『考える葦』にならなくては」と反省し合ったことでした。

もちろん、使ってばかりでは脳もくたびれます。「下手の考え休むに似たり」ということわざもあります。いくら考えても良案が浮かばないと、私は横になって眠り、脳に休んでもらうことにしています。

よく考え、よく眠る。脳をもてなして元気に働いてもらいましょう。



新・おもてなし考 イラスト：宮下めい子



おくやみ(敬称略)

(平成24年9月1日)
平成24年9月30日)

宮田	福田	宮元	篠原	春田	松木	林	小田	徳留	下地頭所	淵田	吉山	弓指	野村	久保	鶴本	中俣	鈴木	内木場	内木場	
フデノ	イツ	時義	ツギ	順一郎	重廣	勇	政孝	ヨビ子	フミ子	重雄	友義	フミ	トミエ	勝美	フミ	多喜男	アキミ	弘光	弘光	
(88)	(89)	(90)	(90)	(81)	(84)	(83)	(83)	(77)	(100)	(71)	(96)	(100)	(86)	(78)	(98)	(80)	(82)	(73)	(73)	
お祈りいたします。	つつしんでご冥福を		田口 道弘	淵田 スミエ	加治佐アキエ	市川 律	佛願 登	久保フユマツ	下川 愿	中野 ツルエ	松澤 善孝	紀 一成	坂元 榮		福村 ミチエ	篠原 英太郎	福村 スミエ	東 みつえ	出口 博之	
		(80)		(94)	(76)	(83)	(72)	(95)	(87)	(87)	(73)	(83)	(91)		(98)	(93)	(101)	(59)	(78)	(76)

黎明短歌会指宿支部

(平成24年10月 歌会詠草)
(題詠II装)

- 一 七歳児四つ身をよそおいポーズとる振り袖姿夢の夢かも
上西蘭 ふじえ
- 二 OB会十年振りの再会によそおい新たくつ音かろし
川畑 ノブ子
- 三 お洒落してウキウキ歩く天文館に粋に装う人を見習わむ
吉元 みどり
- 四 コスモスは秋風を呼び高原を装い人を笑顔に変える
柚木崎 イツ子
- 五 花びらの風に揺られる胡蝶蘭白蝶のごとく装いおどる
吉元 美知子
- 六 曼珠沙華咲き満つ路傍の地藏さん誰の手になる赤きエプロン
外 蘭 隆
- 七 派手な柄明るき色を選びつつわが年齢に引き戻さるる
辰野 千鶴子
- 八 すっぴんにラメのルージュの化粧直し装うじめさあの石像笑まう
吉永 多美子
- 九 新調の服よそおいて農の友ふれあい会にすまし顔にいる
片野田 健一
- 十 華美でなく地味にもならず鏡みる手持ちの服でファッションショー
吉田 知佐子
- 十一 新品の靴と帽子のよそおいに童心となり競技の球打つ
片野田 道子

JA西田駐車場のご案内

JR鹿児島中央駅周辺に、お出かけの際はご利用ください。

●年中無休	8:00~	30分
●24時間営業	23:00	100円
●無人パーキング	23:00~8:00	60分
		100円

ご連絡先 鹿児島県農協福祉事業株式会社
鹿児島市鴨池新町15番地 (JA鹿児島県会館9階)
TEL099-258-5626 FAX099-255-9595

編集後記

秋も深まり、秋冬野菜の出荷が本格的に始まります。取材をしていると、JAいぶすき管内には本当にすばらしい作物が沢山あることが分かります。もっと勉強して広報誌の充実に取り組んでいきたいと思いたいで、今後もしましくお願ひします。



JAIいぶすきは 産業用太陽光発電の 融資相談をお受け致します。

適用金利（平成24年11月現在）
※適用金利については変動金利となります。

2.25%

軽減項目があります



ご連絡先	本所融資課	35-3412	喜入支所	099-345-4211
	中部支所	25-4211	大山支所	35-2160
	開聞中央支所	32-3131	えい中央支所	36-1131